

自己評価意見・改善点

◎保育目標について

- ・コロナ禍の中、地域の特色を生かすことができなかった。
- ・人格形成を培ううえでの毎日の保育に携わることができて喜びをかんじている。日々の子どもの成長が嬉しい。
- ・保育目標について、年度の終わりに反省などを出し合い、検討できると良い。
- ・年度の途中で入った保育士にも保育目標を渡してもらえてよかった。

◎保育について

- ・素材・用具については、使い方・役立て方を確認した方が良い。
- ・環境の構成については、もう少し工夫していかなければならないと思う。
- ・クラス担任がよく考えて保育している。
- ・どのクラスも工夫は感じられたが、運動あそびの充実やあそびこむことが少ないように感じた。

◎行事について

- ・コロナの状況によって、日々変化しているため、行事が思うように計画できず残念。
- ・コロナ禍でも子どもたちが楽しめる行事をしたい。
- ・子どもたちがもう少し自主的に活動できるような設定をしたい。

- ・通年通りやっていきたい
- ・コロナ禍で規制が多く保護者の願いも取り入れが難しかった。
- ・園としては工夫しながら頑張っている。
- ・計画や話し合いにより、充実した行事ができていると思う。

◎経営・組織()

- ・なかなかうまくまわっていないような時もある
- ・仕事分担が理解できていない職員がいると共働できる体制がとれず子どもたちが危険になってしまう。
- ・職務内容がみんな平等でうまくまわっている。

(運営)

- ・もう少し打ち合わせやミーティングなどがゆっくりできたらと思う。(コロナで仕方ない)
- ・必要に応じて、打ち合わせ等話す機会をもうけている。
- ・ブロック代表などの打ち合わせが出来ると全体的に同じ認識が持てると思う。

(人数的に難しいことも十分理解できる)

(年齢別・クラス運営)

- ・全体で同じ方向に向かっていくこともあってほしい。
- ・異年齢児間の交流ができなかった。

- ・子どもたちの発達、「あそび」の充実さを次年度は深く考えていきたい。
- ・コロナで縦割り活動がもてず、関わりなく過ごしているのでこれからの変化が不安に思う。

(保健・安全指導)

- ・コロナ感染拡大対策など、職員と共に考えてきたが判断する難しさも感じた。
- ・避難訓練を毎月しっかりと行うことで、着実に子どもたちに安全への知識が身についている。
- ・計画的にできていると思う。

◎研究・研修（所内研究・研修）

- ・コロナの状況で難しいが、もっと勉強、経験ができるとよいと思う。
- ・研修などに行った人の話を聞いて保育に生かしたい。
- ・zoom 研修が主であった。
- ・研究・研修の成果は会議などで全体に報告している。

(所外研究・研修)

- ・コロナの状況で難しいが、もっと勉強、経験ができるとよいと思う。
- ・行けていない。
- ・研修したことが自分の中だけになっている。

◎情報について

- ・個人情報は大事なので常に気を付けている。

◎施設・設備

- ・遊具・用具が子どもたちで片付けやすく、遊びやすくしていきたい。
- ・ショッピングセンター内に子育て支援センターがあり、警備はいるが心配である。
- ・コロナで入口を開けたままなので対策が必要。(子育て支援センター)
- ・毎日の点検だけでなく、子どもが使用するものは常に危険がないかを確認できている。
- ・不審者対応などをもっと煮詰めていきたい。
- ・もう少し整理できると良い。

◎開かれた保育所づくり

(施設間交流・連携)

- ・中々交流できない状況であるため、子どもだけでなく、保育者自身も経験できず、残念に思う。
- ・コロナ禍で中止になっている。
- ・感染症対策で交流が行われていないが、安全に交流が行われるよう対策が必要。
- ・コロナにより、今年度は施設交流が難しかった。

- ・コロナ禍の中できる限りの交流はできたが充実したものにはならなかった。

- ・ちゅうりっぷ保育園での交流をもっとやりたかった。

(家庭との連携・地域社会)

- ・コロナ禍で中止になっている。

- ・感染予防対策をしながら家庭や地域との交流の仕方を考えていく必要がある。

- ・コロナにより、参観なども人数なども人数制限を設けたりして、例年通りにはできなかった。

- ・コロナ感染拡大防止のため、他施設との交流ができなかった。